

令和5年度「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）分野2）」に係る公募について

国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、令和5年度「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）分野2）」に係る公募を行います。

「再生医療実現拠点ネットワークプログラム 疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム」の後継事業として令和5年度から開始を予定している「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題」では、難病等の患者由来の疾患特異的 iPS 細胞等を用いた疾患発症機構の解明、病態解析技術の高度化、創薬研究を推進します。また、ゲノム医療研究への活用も念頭に置きつつ、疾患付随情報等が充実した疾患特異的 iPS 細胞バンクの整備とその利活用促進を行います。

「技術開発課題」は、疾患特異的 iPS 細胞を活用した疾患研究や創薬の発展につながる病態解析技術の高度化を推進することを、「創薬スクリーニング系確立課題」は、疾患特異的 iPS 細胞を用いたこれまでの疾患研究によって見出した創薬標的候補分子を使った創薬研究を実施します。

詳細につきましては、以下の URL をご覧ください。

[https://www.amed.go.jp/koubo/13/01/1301B\\_00027.html](https://www.amed.go.jp/koubo/13/01/1301B_00027.html)

公募〆切：令和5年2月2日（木）正午【厳守】

e-Rad にてご提出ください。

お問い合わせ先：

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番1号 読売新聞ビル 21階

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

再生・細胞医療・遺伝子治療事業部 再生医療研究開発課

「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム

（疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明・創薬研究課題）」公募担当

E-mail：saisei-ips@amed.go.jp

※お問い合わせは必ず E-mail でお願いいたします。